

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年三月度 入選句（投稿総数二九三八句・小中学投句数二三七五句）

特選

選者 説田 祐子

卒業式最後の呼名嘯みしめる 美濃加茂市 水谷 蒼空(高二)

作者は中学三年生で卒業生なのでですね。まずは卒業おめでとう。その卒業式の場に読者である私達もいるような気持ちになります。

厳肅な卒業式で担任の先生に名前を呼ばれるのもこれが最後だという思い、親しくしてきた友達とも名前を呼び合うこともなくなるのではないかという思い、そして、何よりもこの名前を付けて下さり、今まで見守り育てて下さった両親への感謝の気持ちがあふれてきたのでしょうか。「呼名を嘯みしめる」の表現にその気持ちがあふれています。

かあさんとくびまでつかるふゆのふる 大垣市 河本 琉璃(小四)

今年も寒かった冬。そんなときのお風呂は何より体も心も温まるひとときですね。そのお風呂にお母さんと一緒に入ったのですね。嬉しく楽しかったのでしょうか。お湯は首までつかるほどたつぷり、湯気の立ち込める中できつとお母さんにその日の出来事をいっぱい話しているのですね。そんな様子が浮かんできます。温かくなる句です。

うぐいすに口笛ふいて返事する 大垣市 矢橋 亮哉(小五)

作者は登校の朝うぐいすの鳴き声を聞いたのでしょうか。その鳴き声に「口笛吹いて返事する」というのがいいですね。「行ってきます」と言ったのでしょうか。うぐいすの鳴き声を真似する事はよくありますが「返事する」という表し方は対象のうぐいすを友達のようにとらえていることが伝わる俳句です。

秀逸

はるのかぜぼくのぼうしをかえしてよ 大垣市 野呂 春翔(小二)

つうがくるたんぽぽたちがまってるよ 大垣市 牧野 結菜(小二)

うめのはなともだちできてうれしそう 大垣市 松宮 もあ(小二)

卒業に近づいていくカレンダー 美濃加茂市 間宮 莉子(高二)

しやぼん玉笑顔うつして空へ行く 美濃加茂市 佐橋 心風(中三)

雪だるま作った思いで溶けないで 美濃加茂市 前川 怜香(中三)

ひなあられうたをうたってたべようよ 大垣市 やすだ ともか(小四)

たんぽぽがたいようむいてわらってる 大垣市 林 海 聖(小三)

食たくがピンクでそろうひな祭り 大垣市 牛田 温斗(小五)

おとうとのせなかでひかるランドセル 大垣市 みき あおね(小二)

入選

おにはそとまめとふくはぼくのなか	大垣市	室	るきや(小二)
おにがきたミサイルみたいにまめがとぶ	大垣市	大塚	彩友美(小二)
おひなさまおなじポーズでしゃしんとる	大垣市	仙石	柑奈(小二)
ふゆのあさふとんのなかでだんごむし	大垣市	河本	珠璃(小四)
うちゆうへとすいこまれそう冬の星	大垣市	野田	希愛(小四)
にこにこのはるのそよかぜをつなごう	大垣市	森下	琴羽(小一)
残る雪踏みつつ一人帰り道	美濃加茂市	長瀬	右京(中三)
雪消えて緑が見えるおんたけ山	美濃加茂市	國本	拓也(中三)
夜が明けて梅のにおいで目がさめる	美濃加茂市	山下	大毅(中三)
お日様はなの花のこと育ててる	大垣市	井上	璃音(小四)

入選

つくしの子日差しによばれ目を覚ます	大垣市	佐竹	一希(小五)
チューリップ赤白黄色三しまい	大垣市	川地	こうき(小三)
なのはながなかよくならびゆれている	大垣市	川せ	やまと(小三)
ナズナをねくるくるまわすすずのおと	大垣市	村上	しゅうと(小三)
なの花は春のにおいのはこびやさん	大垣市	鈴木	秀治(小三)
しゃぼん玉少しのあいだお友だち	大垣市	清水	もも(小四)
春の風あびると元気がわいてくる	大垣市	岡島	悠佳(小四)
モンシロチョウ一人おでかけどこ行くの	大垣市	佐竹	華(小五)
手ぶくろがいらなくなつた通学路	大垣市	井上	尚也(小五)
ひな祭今日は静かなお姉ちゃん	大垣市	杉原	勇次(小五)

選者吟

日足伸び児らの声するもういいかい

祐

子